

行政コスト計算書 (市民サービスのための費用)

行政コスト計算書は、民間企業の決算における損益計算書に相当するものですが、行政には利益という概念がないため、コスト(費用)と一般財源との関係をあらわしています。

人的サービスや、給付サービスなどの資産の形成につながらない、いわゆるソフト事業といわれる行政サービスに、1年間でどのくらいのお金を必要とし、どのくらいの収入によって賄われたのかをあらわしたものです。

行政コスト計算書には、市の職員に要する人件費や、建物などを維持していくための物にかかる費用のほか、実際に現金の支出を伴わない減価償却費なども含まれます。



行政コスト計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

| 項目 | 市全体(単位:千円) | 市民一人あたり(単位:円) | 構成比(%) |
|-----------------------------|-------------------|----------------|--------------|
| 人にかかるコスト(職員の人件費など) | 2,812,649 | 67,287 | 22.6 |
| 物にかかるコスト(物件費、維持補修費、減価償却費など) | 3,793,318 | 90,747 | 30.4 |
| 移転支的コスト(扶助費、補助費、他会計への繰出金など) | 5,528,133 | 132,248 | 44.4 |
| その他のコスト(公債費利子分など) | 324,433 | 7,762 | 2.6 |
| 費用合計(A) | 12,458,533 | 298,044 | 100.0 |
| 使用料・手数料 | 731,613 | 17,502 | |
| 国・県支出金 | 959,299 | 22,949 | |
| 一般財源 | 9,319,961 | 222,960 | |
| 収入合計(B) | 11,010,873 | 263,412 | |
| 国・県支出金償却額など(C) | 355,220 | 8,498 | |
| 期首一般財源(D) | 23,336,004 | 558,264 | |
| 差引一般財源など増減額(E=B-A+C) | △1,092,440 | △26,134 | |
| 期末一般財源など | 22,243,564 | 532,130 | |

※市民一人あたりの額は、平成19年3月31日現在の住民基本台帳人口(41,801人)で各項目を除き、四捨五入したものです。このため、合計欄が表内の計算値と一致しないことがあります。

平成18年度の行政コストの総額は、約124億5,900万円となっています。市民一人あたりで見ると約29万8千円になります。

項目別では、「移転支的コスト」が55億2,800万円(44.4%)と最も高くなっています。

移転支的コストには、ごみ・し尿処理、消防・救急などを行う一部事務組合への負担金や、児童手当、生活保護費などの扶助費、特別会計への繰出金が含まれています。



◎詳しくは、お問い合わせください。

◆お問い合わせ先
伊奈庁舎財政課
☎58-2111(内線1233)